

ちょいのちょいでお魚をゲットしよう!

エサを付ければすぐに仕掛けを投入できるから、初めてでもカンタン。底をゆっくり引いてくれば、すぐにアタリがもらえるよ。

投げるときは後ろをよく確認してね!



ヒョイッ!

底が砂地になっているポイントで、飛ばせる範囲内で沖に向かってヒョイッと投げます。

3



仕掛けが底に着いたことを確認したら、糸が張り気味の状態でゆっくりと竿を引いて誘います。

アタったときの感触が心地いい!



エサに使う「堤防族(アミ)」や「バイオワーム」などを真っすぐになるようハリ付けします。

糸は張らず緩めずの感じにすると、魚がしっかり食い込んでくれるよ



4



ブルルッというアタリが出たら、あわてずにゆっくりとリールを巻きます。仕掛けを上げれば、はいニッコリ。

おすすめアイテム

ちょい投げ釣りの秘エサ
●堤防族(アミ) 50g (くわせエサ)



虫エサが苦手な人にピッタリ!

扱いやすい人工エサ
●バイオワーム

ハード4mm/10本入り、ハード6mm/8本入り (くわせエサ)



今日のおかずはシロギスの天ぷらに決まり!



ちょい投げ釣り

ちょいって投げれば底はパラダイス!

仕掛けを投げて魚を釣りたい! そんな投げたい派にオススメなのがちょい投げ釣り。遠くまで飛ばす必要はなく、入門者でも気軽にチャレンジできます。この釣りで狙える魚はシロギス、ハセ、メゴチなどの砂地が大好きな魚たち。白身魚だから、天ぷらにすれば身がふわふわでとっても美味しくいただけちゃいます。



仕掛けは、すぐに使えて便利な市販のものをチョイスします。ウキは使わずに、テ

ンピンと呼ばれる糸絡みを防ぐ道具に、オモリとハリを別々に付ければセット完了。エサは、インメヤジャリメなどのほか、虫エサが苦手ならマルキューの「堤防族(アミ)」のようなアミエビや、バイオワームといった人工エサがよく釣れます。

投げる準備ができたなら、後ろに人がいないことを確認してからキャスト。まずは仕掛けを底まで沈め、着底したら竿でズルズルと仕掛けを動かします。竿先がブルルンッとなったからそれがアタリ。2〜3秒待つからゆっくりとリールを巻きましょう。広い範囲を探れば、釣果アツク間違いなし!

市販のちょい投げ仕掛けを使っても便利です。